

栄養改善事業推進プラットフォーム活動内容

- セミナーやシンポジウム、相談会等の開催
- 関係する民間企業、国際機関、学術研究機関等との連携
- 途上国・新興国の現地調査、情報収集
- ホームページでの情報受発信、イベントでの広報活動
- プロジェクトの発案と実現
- 栄養改善事業に関する相談窓口



メンバー企業・団体による途上国の栄養改善事業事例



サカタのオリジナル品種を活用し南アフリカで野菜の栽培指導を実施。農家の生産力向上と経営安定化を通じて、栄養改善に取り組む。



ケニアの雑穀粥を発酵させて甘味を与え、パフ加工した大豆を添加し、栄養を強化。
醤油醸造技術の活用で学校給食等の栄養改善を検討中。



ベトナムでは教育訓練省・保健省と組み、美味しいと栄養バランスの良い学校給食のシステムを全国に導入。並行して国立栄養研究所とともに栄養士の教育、制度創設プロジェクトを推進中。



栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）共同議長



独立行政法人国際協力機構

〒102-8012
東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル



一般財団法人 食品産業センター
〒107-0052
東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル

お問い合わせ先

専用メールアドレス

njppp@shokusan.or.jp

お問い合わせフォーム

<https://fs223.formasp.jp/g263/form1/>

途上国・新興国における栄養改善事業を推進する官民連携の取組

栄養改善事業推進プラットフォーム

Nutrition Japan Public Private Platform (NJPPP)

ご案内

日本はかつての栄養不良の時代を学校給食や栄養教育などの政策により乗り越えてきた歴史があり、栄養改善に関して優れた知見を持っています。

2013年に英国政府のイニシアティブで作成された「Global Nutrition for Growth Compact」に呼応し、日本政府は、栄養改善に向けた官民連携パートナーシップを先導するとともに、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて世界的な栄養改善の取組を強化することを表明しました。

また、日本政府は2014年に健康・医療戦略において「新興国・途上国を含む各国の栄養改善のため、官民連携を通じた包括的ビジネスを含む事業の国際展開を進める」とことし、この「栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）」が2016年に設立されました。その後、2017年に日本政府は2020年に東京での栄養サミットの開催を宣言しました。

本プラットフォームは、途上国で栄養改善に関わる食品関連企業のビジネス環境を整備し、官民の連携による栄養改善事業の推進を目的としています。企業の成長と社会課題の解決に向け、CSR（企業の社会的責任）を超えてCSV（共有価値の創造）の実現を目指しながら取組を進めています。



新たなビジネスチャンス創設や情報交換の場として、ぜひご参画ください。

栄養改善事業推進プラットフォーム とは？

Nutrition Japan Public Private Platform (NJPPP)

「栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP)」とは、官民連携で栄養改善事業を推進する枠組みです。日本の技術と知見を活かした民間企業のアイデアをベースに、栄養改善効果が期待できる途上国の国民向け食品供給事業などのビジネスモデル構築を目的としています。本プラットフォームの活動は政府や海外の関係機関とも連携して、一体的に進めています。

栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP)
公式ウェブサイト

<http://www.njppp.jp/>

栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP) について賛同される企業／団体の皆様のご入会を隨時募集しております。ご希望に合わせて「事業者会員」「一般会員」からお選びいただけます。

詳細、お申し込みについては公式ウェブサイトをご確認ください。